



PROSPEC A»Z INC.

プロスペック AZ 株式会社

会社概要

■会社名	プロスペックAZ株式会社
■本社所在地	愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋 26階
■設立日	2008年7月(創業2001年3月)
■資本金	8億6553万円(資本準備金含む)
■事業内容	太陽光発電事業 バイオマス事業 風力発電事業(小型・中型・大型) 蓄電池発電事業 特定規模電気事業(PPS)
■代表者	代表取締役CEO 遠山 知宏
■売上高	単体66.4億円:連結75.5億円(2024年3月)
■従業員数	単体：89人 グループ：244人(パート・アルバイト含)
■拠点	本社 東京オフィス/東京都千代田区九段南2-4-11 パシフィックスクエア九段南3階 石川オフィス/石川県金沢市松寺町カ140-1 函館オフィス/北海道亀田郡七飯町大川3-24-10 台湾オフィス インドネシアオフィス
■関係会社	Human Resource & R株式会社 株式会社テクノサービス
■取引銀行	みずほ銀行、名古屋銀行、愛知銀行

事業内容

当社グループでは**脱炭素**を軸とした環境事業に取り組んでおり、
当社単体では**再生可能エネルギーに関する事業**を中核として、
一気通貫で提供しています。

バイオマス



中小型風力発電



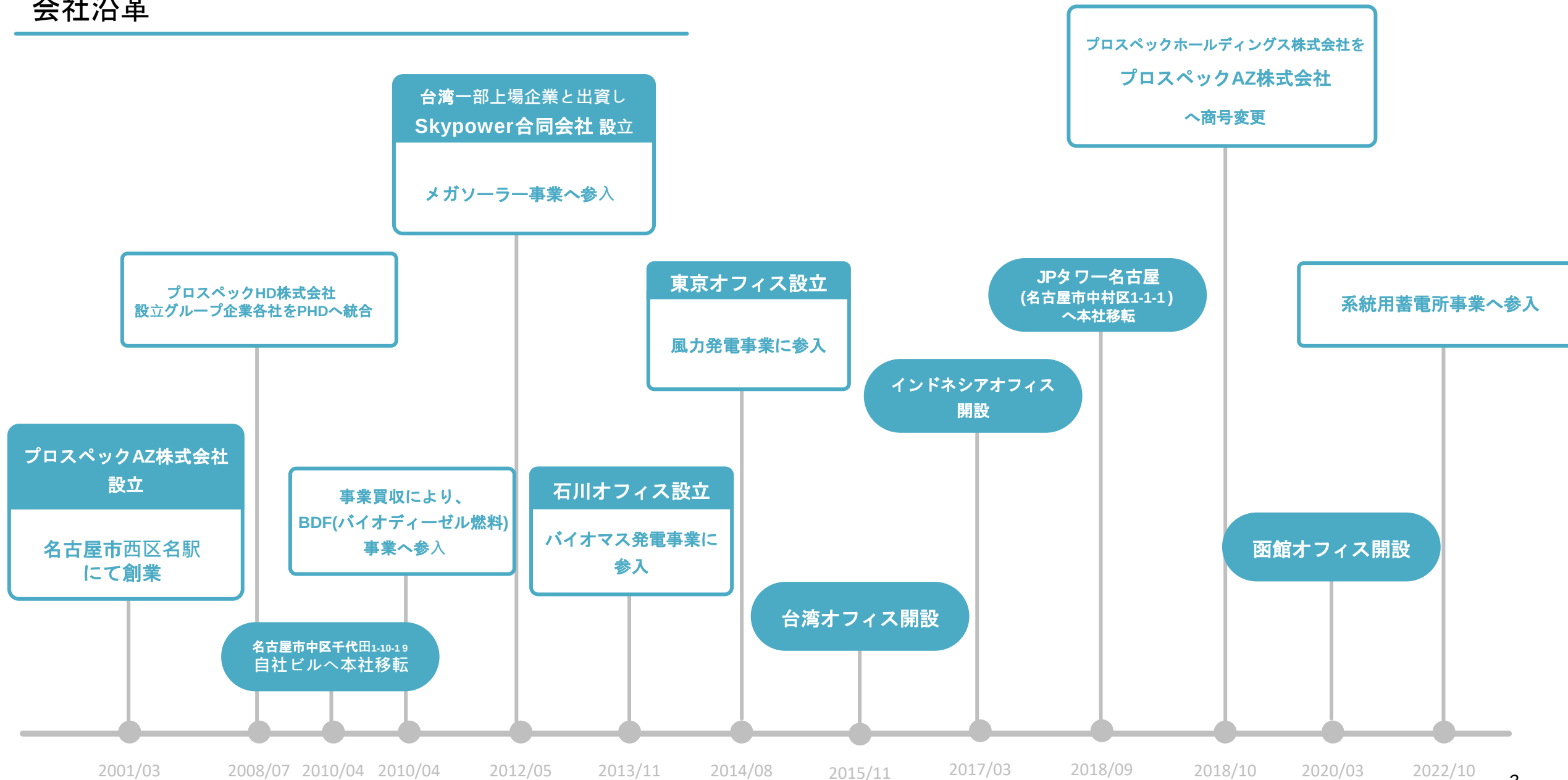
太陽光発電



蓄電所発電



会社沿革





再生可能エネルギー 事業のA～Zとは

社名のAZ＝ **A:電源開発、Z:O&M**

- 再生可能エネルギー電源開発において、
リサーチや土地選定の段階より協力会社への丸投げとしない。
- 開発・設計・建設へと自社主体に事業者と共に推し進め、
環境や地元・行政へも配慮を進める。
- 建設・連系後も、O&Mを自社にて行う。
機械的保守メンテナンスのみらず、
Aのフェーズより地元で培ってきた地元・行政との繋がりを活かし、
長期に亘る事業主の再生可能エネルギー事業を支援する（Zのフェーズ）。

「SDGs 実施指針」における再生可能エネルギーの位置づけ

日本政府の「SDGs 実施指針」における8つの優先課題

People 人間	1 あらゆる人々の活躍の推進 2 健康・長寿の達成
Prosperity 繁栄	3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション 4 持続可能で強靱な国土と室の高いインフラの整備
Planet 地球	5 省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会 6 生物多様性、森林、海洋島の環境の保全
Peace 平和	7 平和と安全・安心社会の実現
Partnership パートナーシップ	8 SDGs実施推進の体制と手段

出典：SDGs入門（村上芽/渡辺珠子 2019年6月14日 日本経済新聞出版社 47頁）

サプライチェーンにおけるCO₂※₂削減の捉え方

モノがつくられ廃棄されるまでの
サプライチェーンにおける
GHG（＝温室効果ガス）排出量の捉え方に

スコープ1・2・3

という分類方法※₁があります。

※₁ GHGの排出量を算定・報告するために定められた国際的な基準「GHGプロトコル」で定義。

※₂ CO₂（二酸化炭素）は複数あるGHGの一つで、最も地球温暖化への影響を与えているといわれています。

スコープ1

自社が「直接排出」するGHG

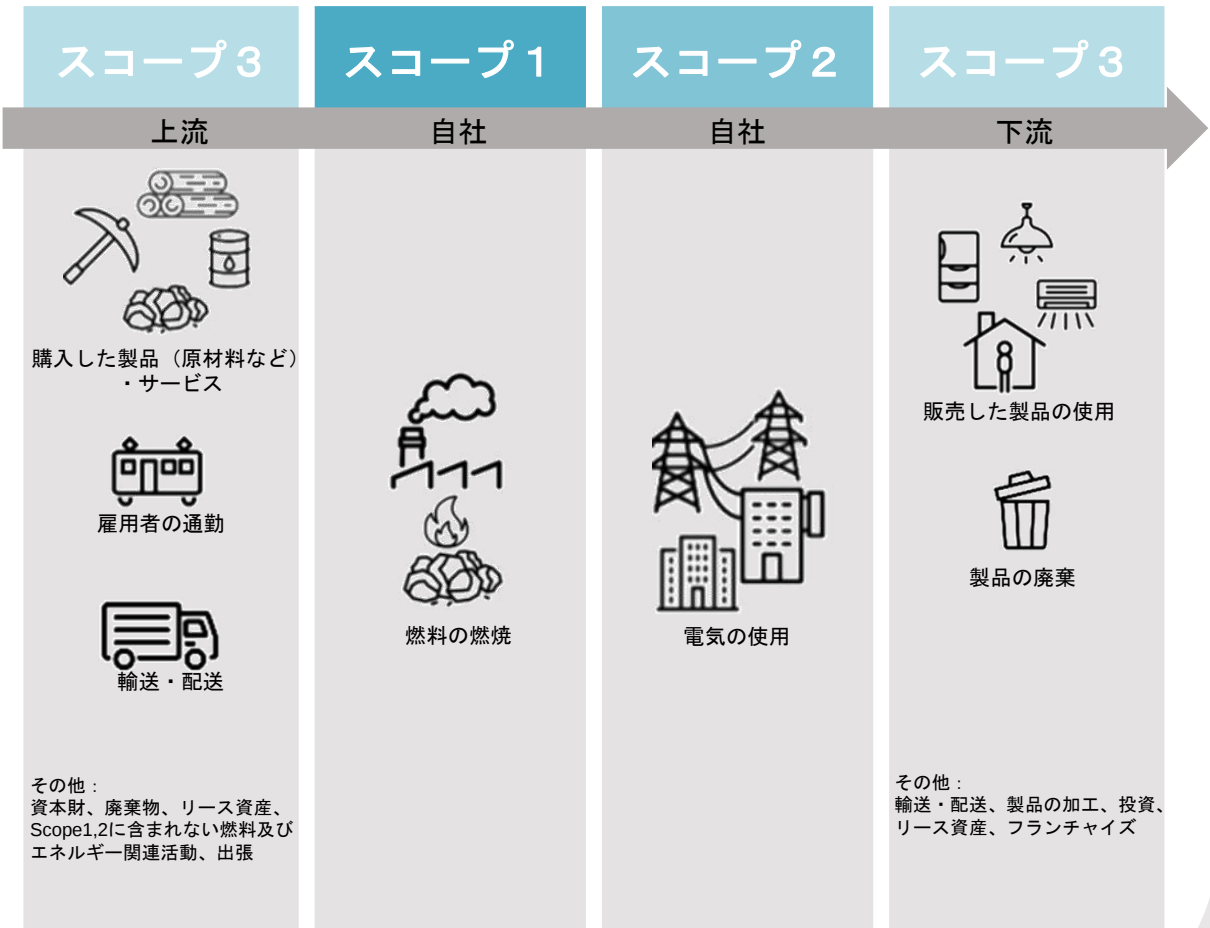
スコープ2

自社が他社から供給された電力などの利用によって
「間接的に排出」するGHG

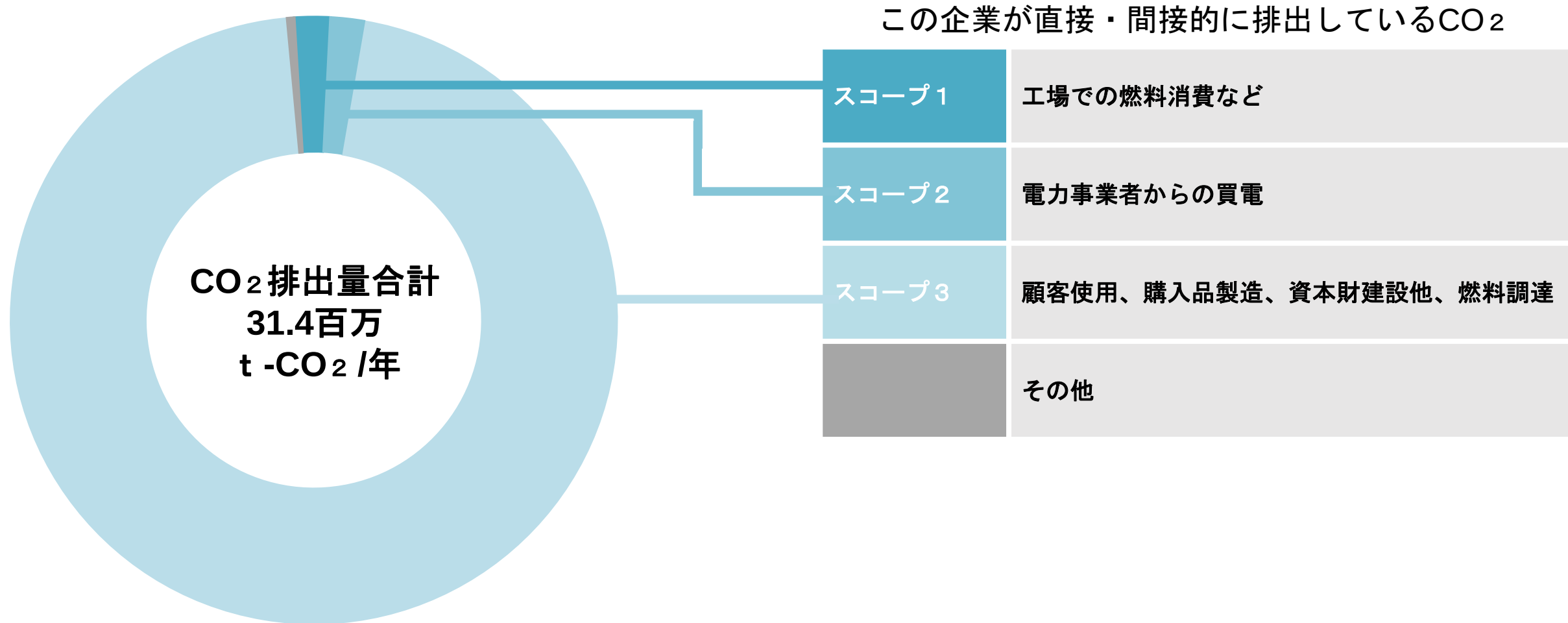
スコープ3

サプライチェーンの「上流」と「下流」から排出される
GHG（スコープ1,2以外の排出）

サプライチェーンにおけるGHG排出のプロセス

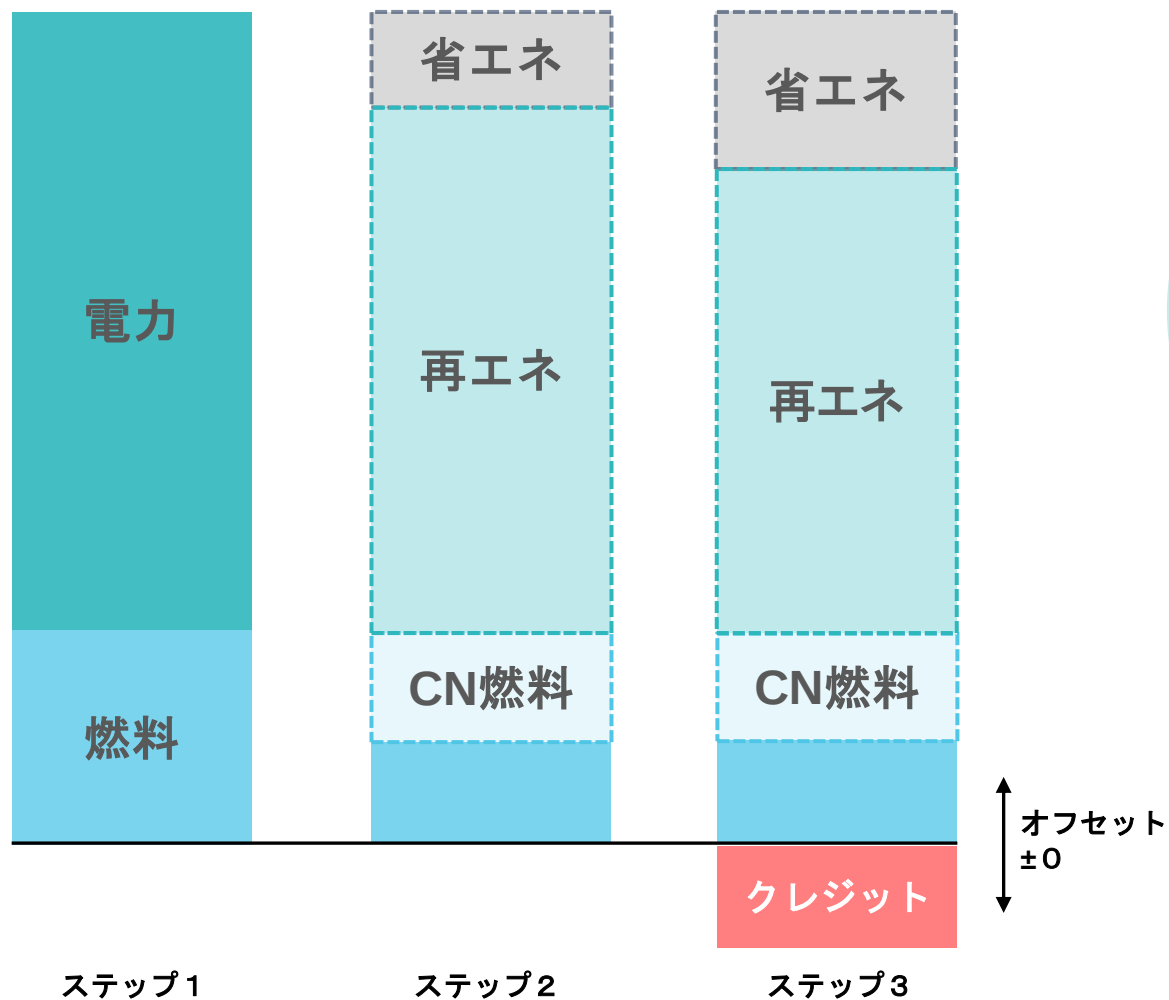


【具体例1】 輸送機器製造業におけるサプライチェーン全体でのCO2排出量の考え方

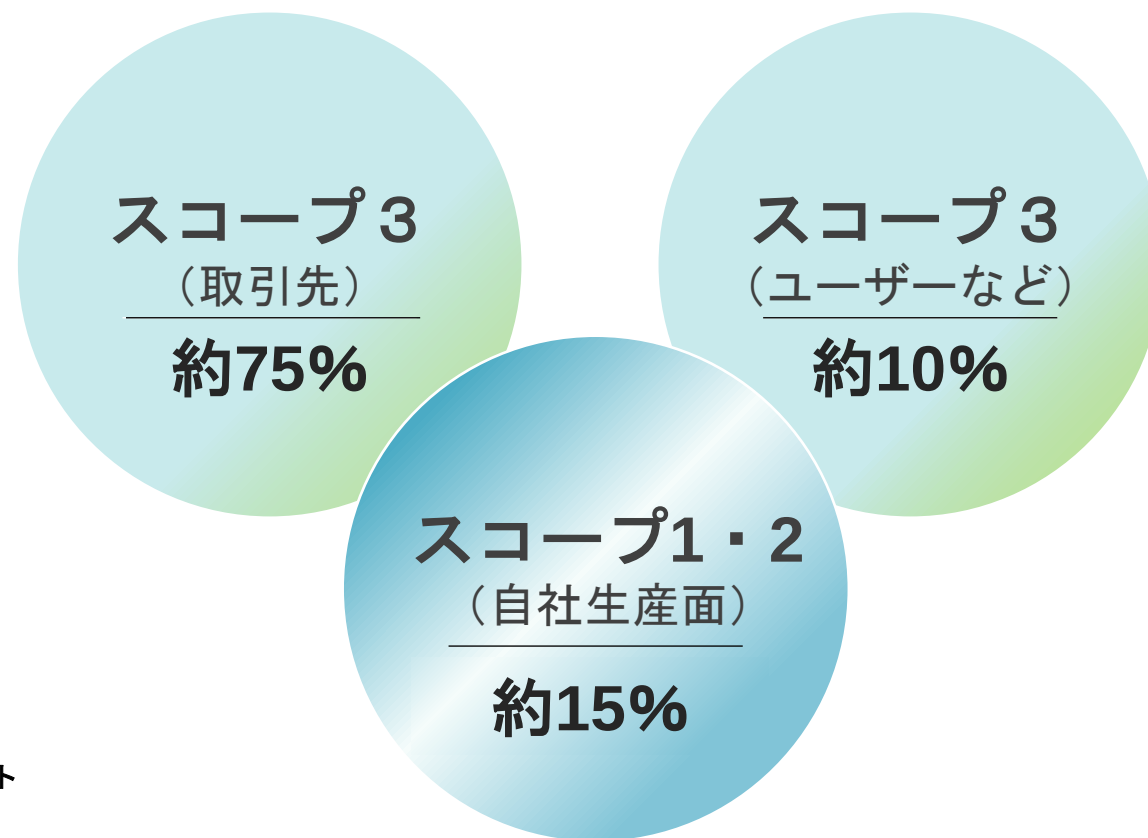


【具体例2】 他社様のサプライチェーンのCO2排出割合と対策

「生産CO2フリー化」のステップ



サプライチェーンのCO2排出割合と対策



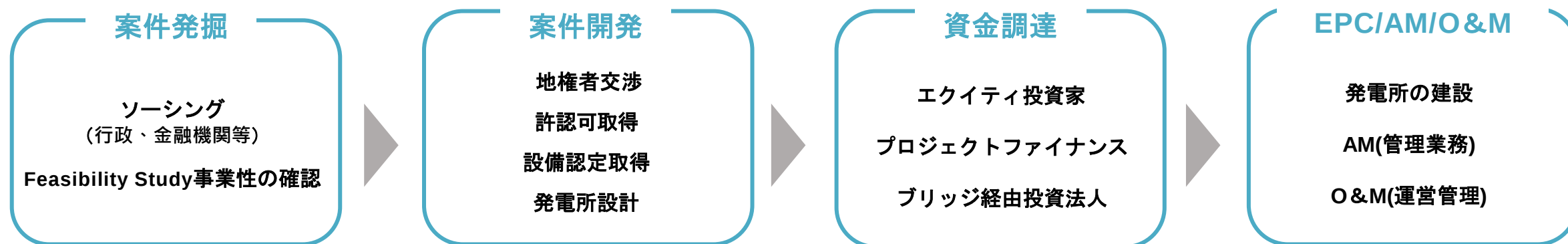


Q. 「何がPR-AZとして提供可能か？」

**A. 「スコープ1～3の全ての企業に
様々な再エネ電源から提供可能」**

I. 太陽光発電事業 ビジネス・スキーム

当社は太陽光発電事業の建設・運営に必要な全要素をワンストップで行います！



上場型、私募型インフラファンドに準ずるDDや、物件の是正、オペレーションメンテナンスの提供も可能性です。



FIT、Non-FITに関わらず「安定した収益の得られる発電所作り」を支援いたします。

I. 太陽光発電事業 上場インフラファンド支援

パイプラインサポート会社のサポート等を通じたパイプラインの供給

本投資法人は、パイプラインサポート会社が優先交渉を有している太陽光発電設備等を中心として、日本全国にパイプラインを形成しています。



▶
案件組入



丸紅グループの東証上場インフラファンド「ジャパン・インフラファンド」には、弊社が開発・設計建設・O&Mを担う案件が多数組み入れられております。

その他の上場・私募インフラファンド組入・業務実績の拡大

大和リアル・エーステート・アセット・マネジメント
Daiwa Real Estate Asset Management



東京インフラ・エネルギー投資法人 [9285]

金融商品化にも耐え得る各種再生可能エネルギー事業・電源開発を担っております。

I .太陽光発電事業 開発事例

石川県



所在地	石川県金沢市
パネル出力	5,508.00kW
パネル設置数	45,900枚
発電出力	3,990.00kW
土地面積	199,426.50㎡
運転開始日	2018年7月1日

富山県



所在地	富山県富山市
パネル出力	5,206.145kW
パネル設置数	14,007枚
発電出力	4,000kW
土地面積	48,145.77㎡
運転開始日	2020年3月2日

長野県



所在地	長野県諏訪郡
パネル出力	5,206kW
パネル設置数	21,168枚
発電出力	5,000kW
土地面積	88,495㎡
運転開始日	2016年3月

I. 太陽光発電事業 EPC実績

自社開発・ID取得・施工物件 (単位kw)

No.	管轄	太陽光発電所	OM受託先【上場・私募ファンド組入アセット】	DC	AC	No.	管轄	太陽光発電所	OM受託先【上場・私募ファンド組入アセット】	DC	AC
1	富山	富山水橋	※	5,206.32	4,000.00	15	福井	福井引目	※	1,543.44	1,500.00
2	長野	富士見1号		5,503.68	5,000.00	16	茨城	龍ヶ崎若柴1号		2,359.56	1,750.00
3	石川	石川花見月1号		18,115.20	13,500.00	17	茨城	つくばみらい1号		1,587.04	1,500.00
4	石川	宝達		2,424.24	1,990.00	18	茨城	つくば吉沼		1,881.60	1,412.00
5	石川	能登明野1号	※	1,881.00	1,500.00	19	茨城	常総1号		1,589.28	1,250.00
6	石川	敷浪4号		1,009.12	750.00	20	茨城	筑西向上野2		1,949.94	1,500.00
7	石川	輪島門前	※	1,746.36	1,500.00	21	石川	能登合鹿1号	※	2,899.20	1,995.00
8	石川	花見月3号	※	1,924.50	1,330.00	22	富山	中新川上市1号	※	1,395.00	1,330.00
9	石川	矢蔵谷2	※	2,601.70	1,990.00	23	富山	高岡3号	※	1,365.00	1,000.00
10	石川	金沢4号	※	2,685.60	1,995.00	24	富山	高岡1・2号	※	3,136.90	3,000.00
11	石川	金沢3号	※	2,822.40	1,995.00	25	石川	内灘1号	※	2,605.80	1,990.00
12	石川	かほくソーラー		2,437.77	1,990.00	26	滋賀	長浜		1,777.07	1,500.00
13	富山	富山県小矢部市島	※	1,434.16	1,250.00	27	茨城	かすみがうら牛久		1,701.00	1,250.00
14	富山	富山小矢部市桜	※	2,555.84	1,990.00	合計:				47,536.45	39,257.00

I . 太陽光発電事業 OM実績（北陸・上越方面に限る）

発 電 所 名	DC出力 [kW]
滋賀県長浜	1,500
石川県かほく	1,990
石川県羽咋郡宝達志水町敷浪	1,990
石川県能登島	500
富山高岡 1 号	1,500
富山高岡 2 号	1,500
富山高岡 3 号	1,100
石川県内灘	1,990
石川県金沢市才田	600
石川県金沢市大場	500
石川県敷浪	750
石川金沢東長江1号	1,995
石川金沢東長江2号	2,000

発 電 所 名	DC出力 [kW]
石川輪島門前	1,500
石川矢蔵谷	1,990
石川花見月	1,330
石川県能登合鹿	1,995
富山上市	1,550
石川県能登明野	1,440
石川花見月1	18.1MW
富山水橋	5,206
内灘 低圧	50×8
かほく上田名 低圧	50×9
新潟柿崎	1,990
新潟上越	1,200
注）その他、近畿、静岡、北関東に実績あり	

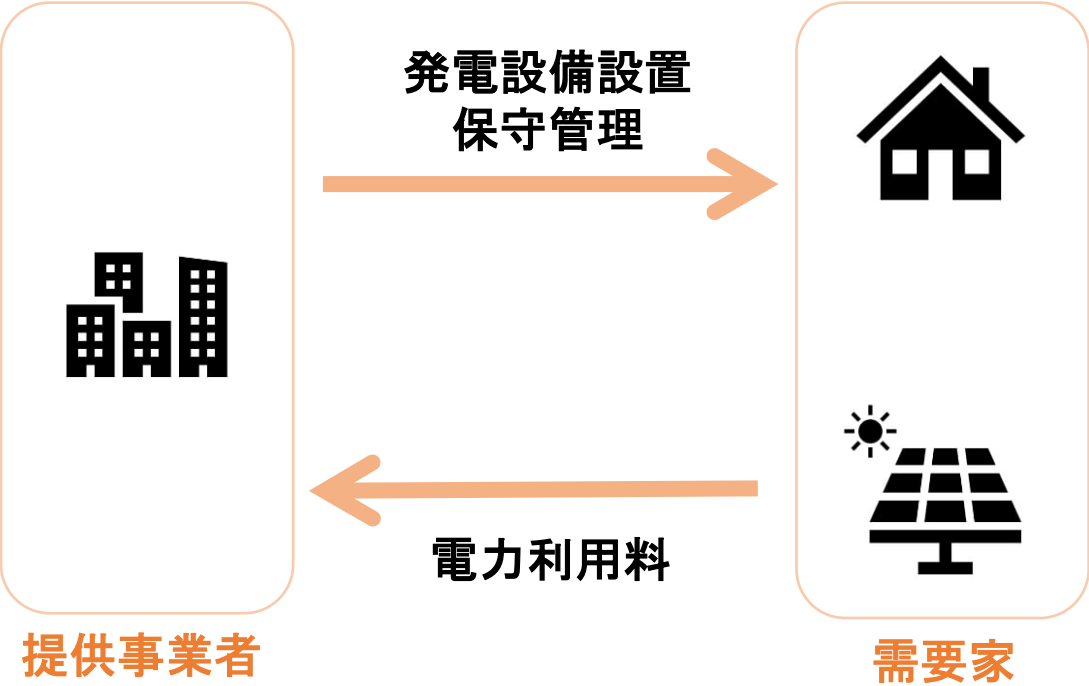
I. 太陽光発電事業 OM実績



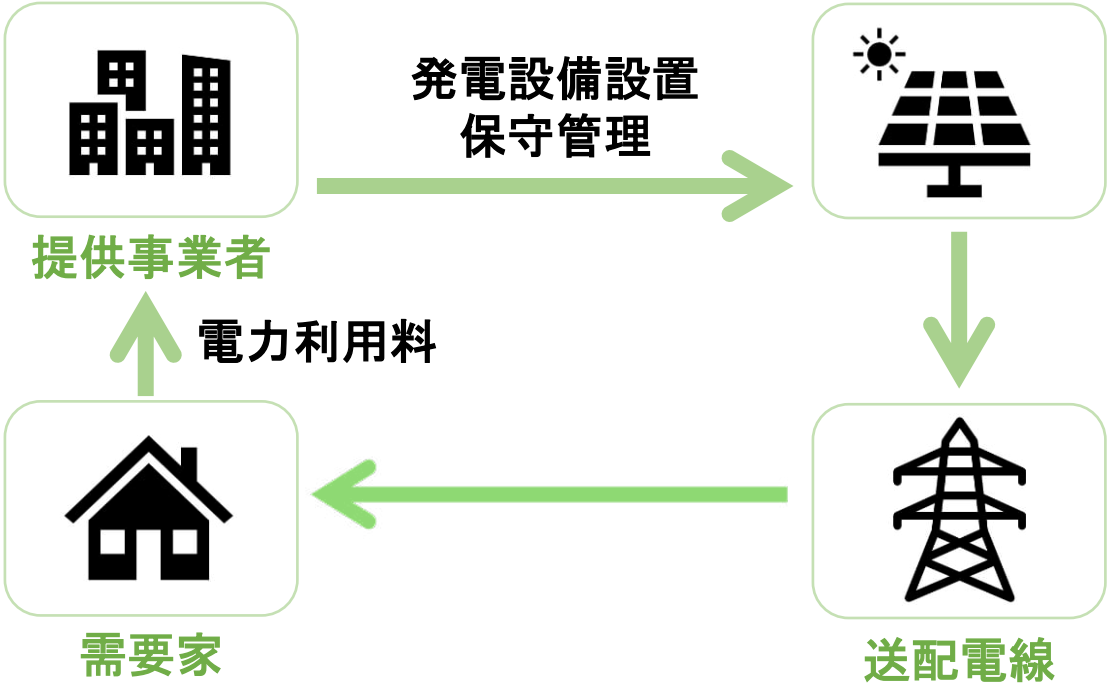
I .コーポレートPPAについて (オンサイト/オフサイトPPA・ビジネススキーム)

※ コーポレートPPA(電力購入契約)：需要家が発電事業者から再エネ電力を長期購入契約を締結すること

オンサイトPPA



オフサイトPPA



直接的【送電不要】	供給方法	間接的【送電要】
設置場所に制限【敷地内】	設置場所	設置場所に制限なし【遠隔地】
小規模～中規模	規模	中規模～大規模
・ 需要拠点の敷地内に再エネ電源設備を設置する ・ 設置場所が敷地内のため、発電量が限られる	特徴	・ 需要拠点の敷地外に再エネ電源設備を設置する ・ 設置場所が敷地外のため、発電量を確保できる

I. オンサイトPPA【ルーフトップ太陽光】施工例



02 太陽光発電の投資効果×再エネ

PROSPEC AAZ INC.
プロスペック AZ 株式会社



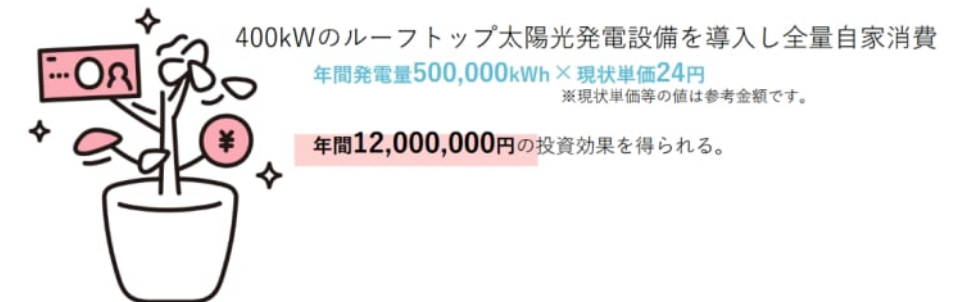
再エネ活動は本来、直接利益にならずコストがかかるものですが、
太陽光発電は**経済効果**×**脱炭素化**×**企業価値向上**のどちらも享受出来ます！

12

02 導入によって得られる投資効果

PROSPEC AAZ INC.
プロスペック AZ 株式会社

【例】現状23～24円/kWhで電気を購入しているA社の場合



9

I .オフサイトPPA 施工例



**PRAZが土地より開発を行い、設計・建設を行い、北陸電力様を介し、
需要家へ電力を供給するパターン**

Ⅱ.風力発電事業

ファブレスメーカーとしての
強みを生かし、
多様なニーズへの対応が可能



機器販売
小形風力(低圧型20Kw未満)

国内シェアNo.1

約300基の実績

北海道180基、青森63基、秋田14基、
愛媛10基、長崎10基、その他

NK小形風車認証取得済み

(2016年3月)



PR-AZ かほく1号発電所

設置場所：石川県かほく市
発電所定格：19.8kw
竣工：2016年7月

Ⅱ.風力発電事業

国内食品大手の工場敷地内に、PR-AZが400kWの風車2基を設置し、
発電された再生可能エネルギー電気を工場へ販売する計画



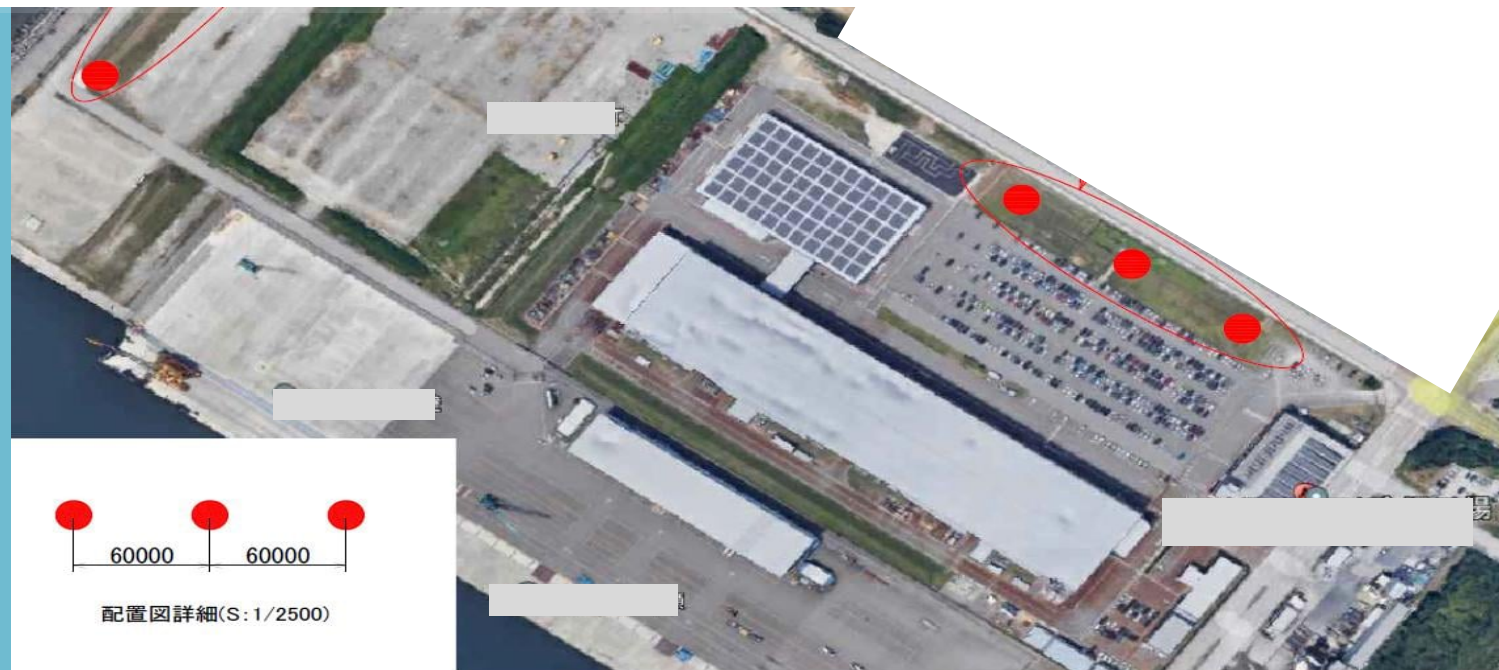
オンサイトPPA風力発電事業
具体的検討事例①

Ⅱ.風力発電事業

国内機械製造大手の工場敷地内に、PR-AZが50kWの風車11基を設置し、
発電された再生可能エネルギー電気を工場へ販売する計画



オンサイトPPA風力発電事業
具体的検討事例②



配置図詳細(S: 1/2500)

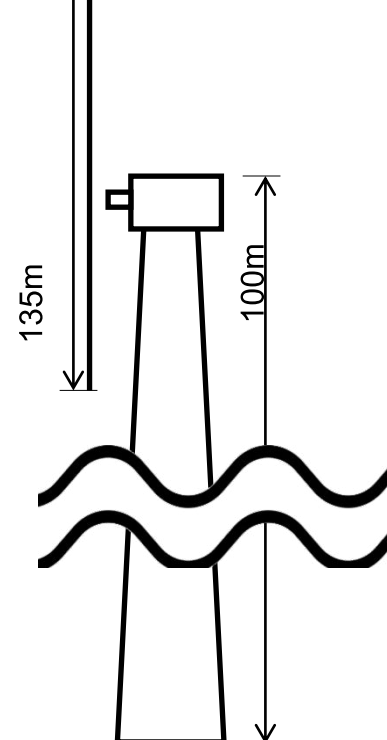
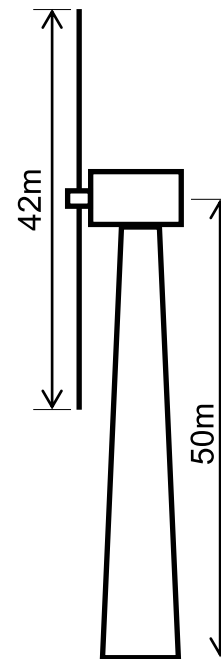
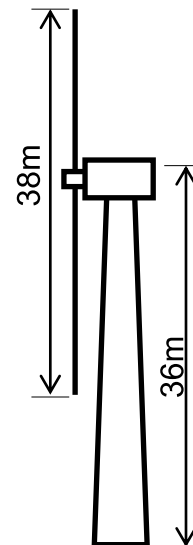
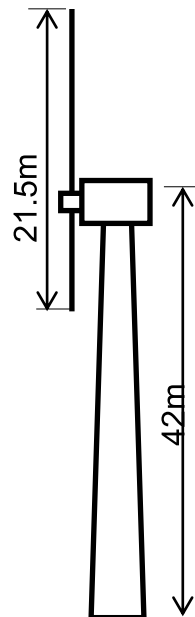
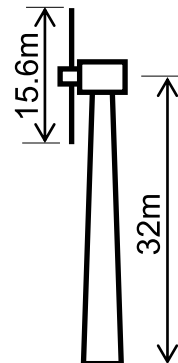
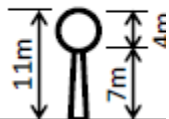
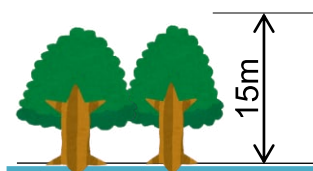
凡例:



風力発電機

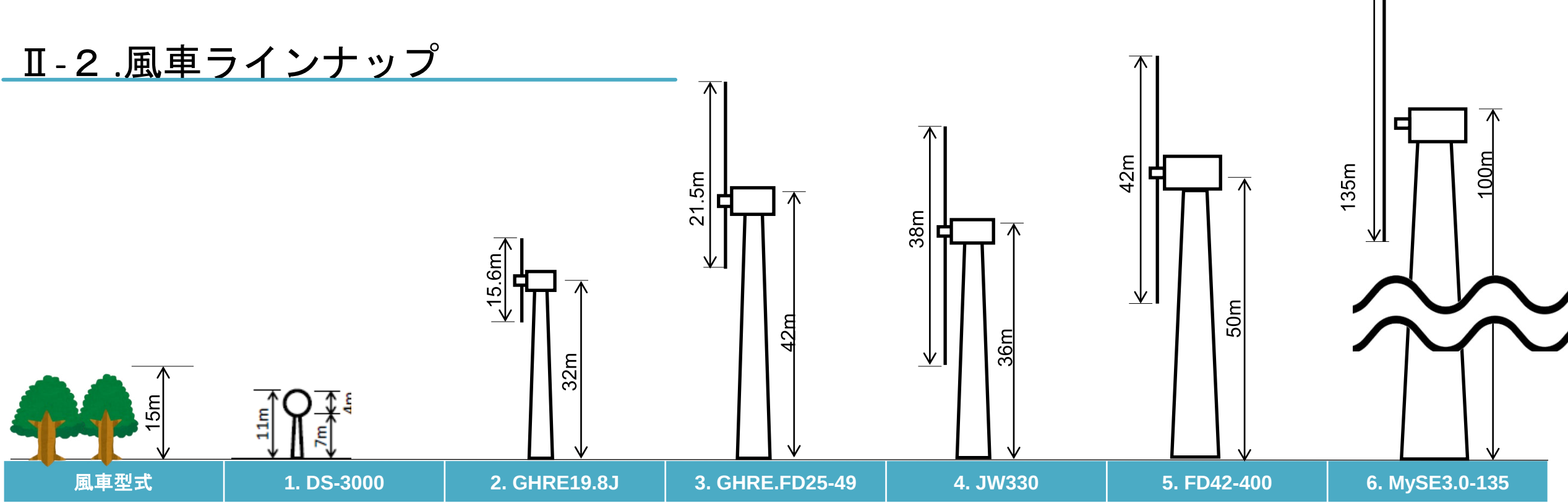
年月日	変更	年月日
	△	
	△	

Ⅱ-1 .風車ラインナップ



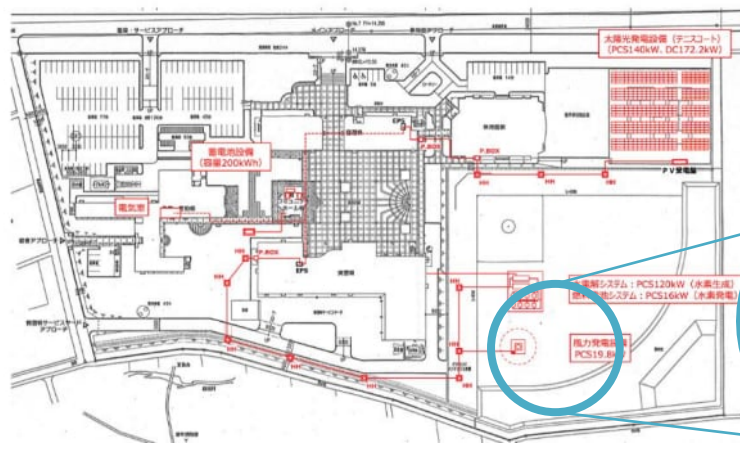
風車型式	1. DS-3000	2. GHRE19.8J	3. GHRE.FD25-49	4. JW330	5. FD42-400	6. MySE3.0-135
メーカー	Hi-VAWT社（台湾）	上海GHRE（中国）	上海GHRE（中国）	山東華業電気	上海GHRE（中国）	Mingyang Smart Energy（中国）
日本国内設置例	有	約350基	有	有	国内未設置	有
ロータ直径	4m	15.6m	25m	38m	42m	135m
ハブ高さ	（タワー高さ7m）	32 / 20m	42m	36m	50 / 37m	120 / 100 / 95 / 90 / 85m
定格出力	3kW	19.8kw	49kw	330kW	400kW	3,000kW
IEC風車クラス	ClassⅢA	ClassⅡ	ClassⅢA	ClassⅡ	ClassⅢA	ClassⅠC / ⅢB
極値風速	60m/s	59.5m/s	52.5m/s	59.5m/s	52.5m/s	70m/s

Ⅱ-2.風車ラインナップ



Ⅱ-3. 導入事例紹介：「福島県立テクノアカデミー浜」※

再エネ等機器等	仕様等	
太陽光発電設備	野立て（140 kW以上）	
風力発電設備	プロペラ式（20 kW）	
燃料電池	計画地内の太陽光発電、風力発電で発電した電力	を利用して生成した水素を利用
水素生成システム		を利用して生成した水素を貯蔵
蓄電池		から充電するものとし、系統電力からの充電は行わない
EMS	計画地内のエネルギー受給状況を監視するとともに、エネルギー受給の最適管理を行う	



弊社の小型風車が採用



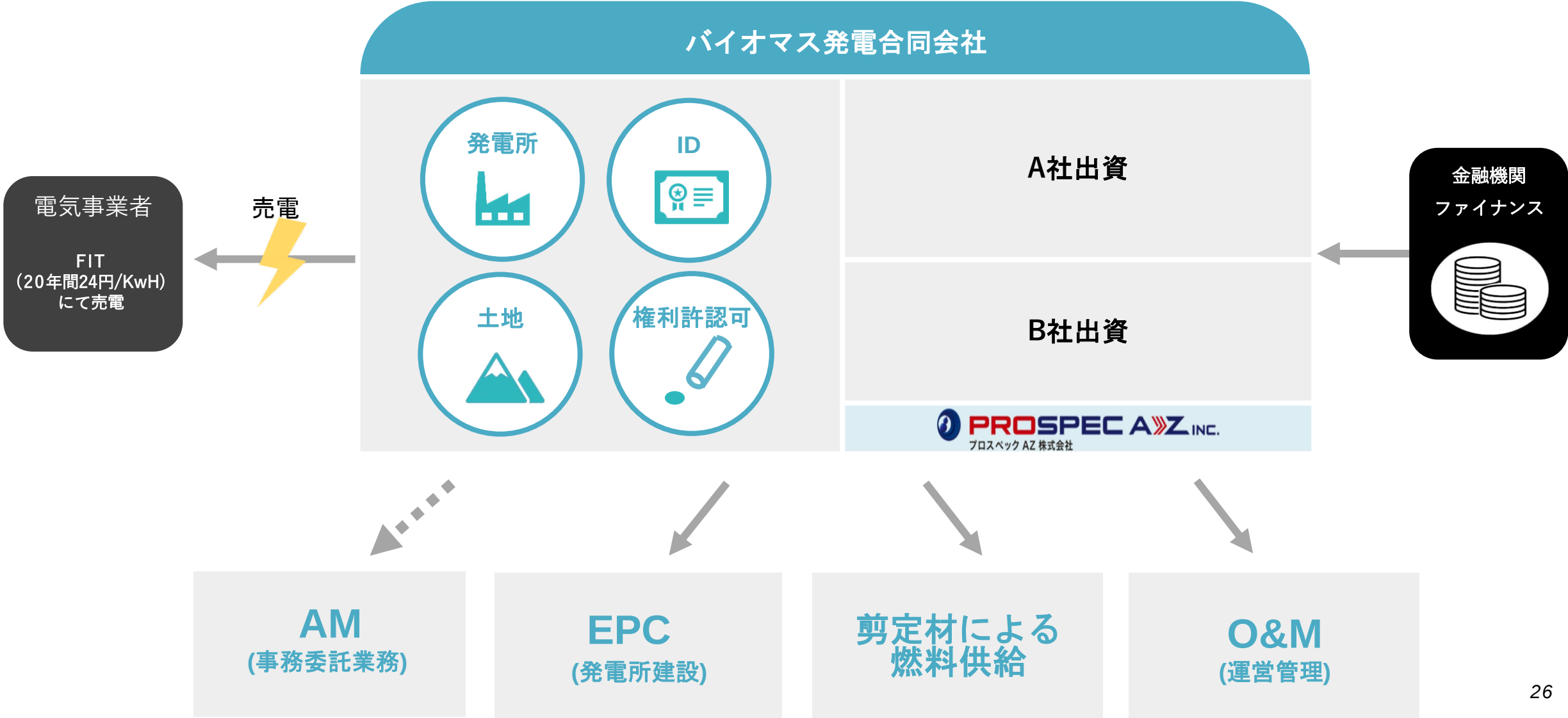
※職業能力開発促進法に基づく職業能力開発短期大学校（専門課程及び専門短期課程）と職業能力開発校（普通課程及び短期課程）を併せ持つ、総合的な職業能力開発を行う公共職業能力開発施設

Ⅲ.剪定材バイオマス発電事業

全国規模で認定申請スタート

	他社バイオマス発電所		当社バイオマス発電所
原材料	輸入材、産廃木くず		国内剪定材
燃料調達の安定性	カントリーリスク等あり	↔	プロスペックAZ独自の、経済産業省設備ID認定モデル 安定した国内調達（2MW年間3万トン）
CO2排出	物流で排出するCO2あり		燃料（剪定枝）が全国の中間処理業者により、安定かつ安価な国内調達が可能 近隣地域の剪定材利用であり僅少
再現性	原材料確保に左右される		同モデルでのパッケージ展開が可能
FIT価格	1.4～1.7円 ○		2.4円 ◎

Ⅲ. 剪定材バイオマス発電事業：JVスキーム例



Ⅲ.先行事例紹介：【東松山バイオマス発電所】

2024年3月末売電開始



立地条件

- 計画地：埼玉県東松山市大字大谷字町田5273 他
- 敷地面積：3,886㎡
- 地目：雑種地
- 用途地域：市街化調整区域

発電設備

- 発電出力：1990.0kw
- 発電方法：蒸気タービン
- 使用燃料：木質チップ（剪定枝）
- 設備メーカー：株式会社よしみね



Ⅲ.先行事例紹介：【鈴鹿バイオマス発電所】

2024年10月末運転開始



3号案件： 鈴鹿バイオマス発電所

- 所在地：三重県鈴鹿市
- ステータス：着工済み
- 設備メーカー：三菱重工IDS



Ⅲ.先行事例紹介：【小諸バイオマス発電所】

2025年夏末運転開始予定



2号案件： 小諸バイオマス発電所

- 所在地：長野県小諸市
- ステータス：着工済み
- 設備メーカー：JFEエンジニアリング



Ⅲ.先行事例紹介：【都留バイオマス発電所】

2025年夏運転開始予定



4号案件： 都留バイオマス発電所

- 所在地：山梨県都留市
- ステータス：着工済み
- 設備メーカー：JFEエンジニアリング



Ⅲ.先行事例紹介：【裾野バイオマス発電所】

2025年夏運転開始予定



5号案件： 裾野バイオマス発電所

- 所在地：静岡県裾野市
- ステータス：着工済み
- 設備メーカー：三菱重工IDS



Ⅲ.先行事例紹介

6号案件： 渋川バイオマス発電所

- 所在地：群馬県渋川市
- ステータス：2024年4月着工予定
- 運転開始予定日：2026年秋
- 設備メーカー：三菱重工業IDS



7号案件： 長野バイオマス発電所

- 所在地：長野県長野市
- ステータス：建設中
- 運転開始予定日：2027年夏
- 設備メーカー：JFEエンジニアリング



8号案件： 上越バイオマス発電所

- 所在地：新潟県上越市
- 運転開始予定日：2027年春
- 設備メーカー：タクマ



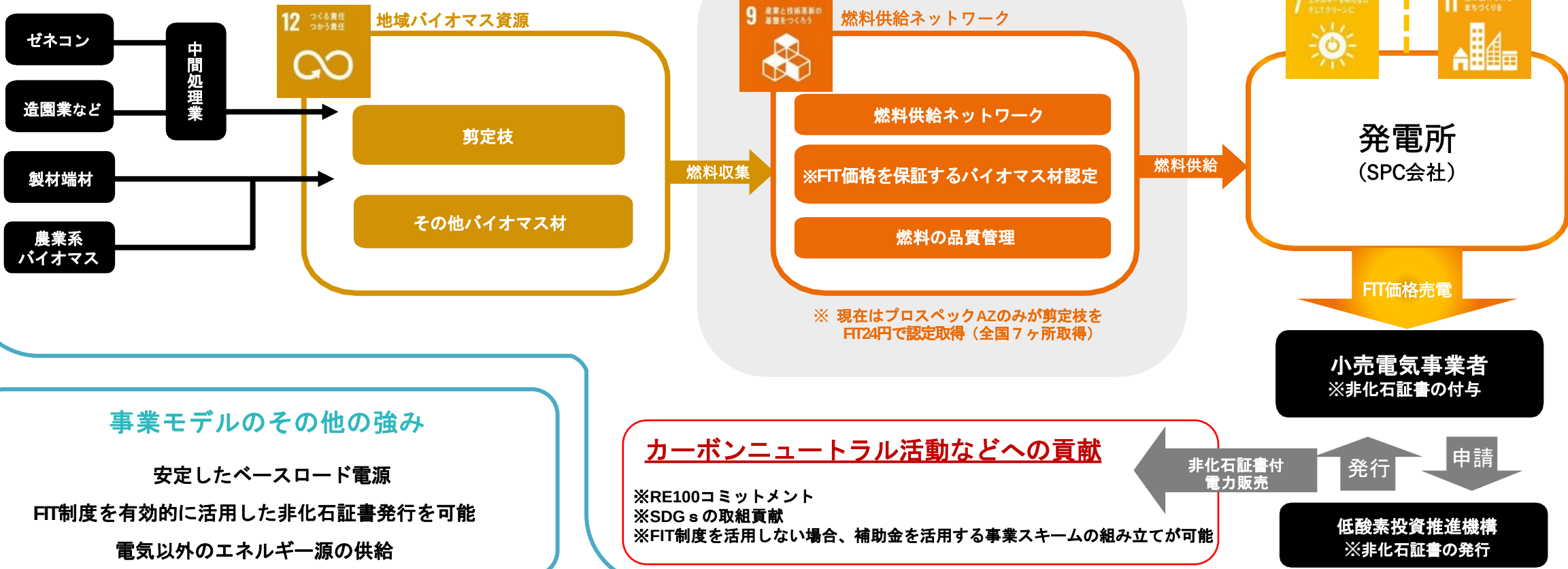
Ⅲ. プロスペックAZの地産地消型バイオマス事業

13 気候変動に
具体的な対策を

15 陸の豊かさも
守ろう

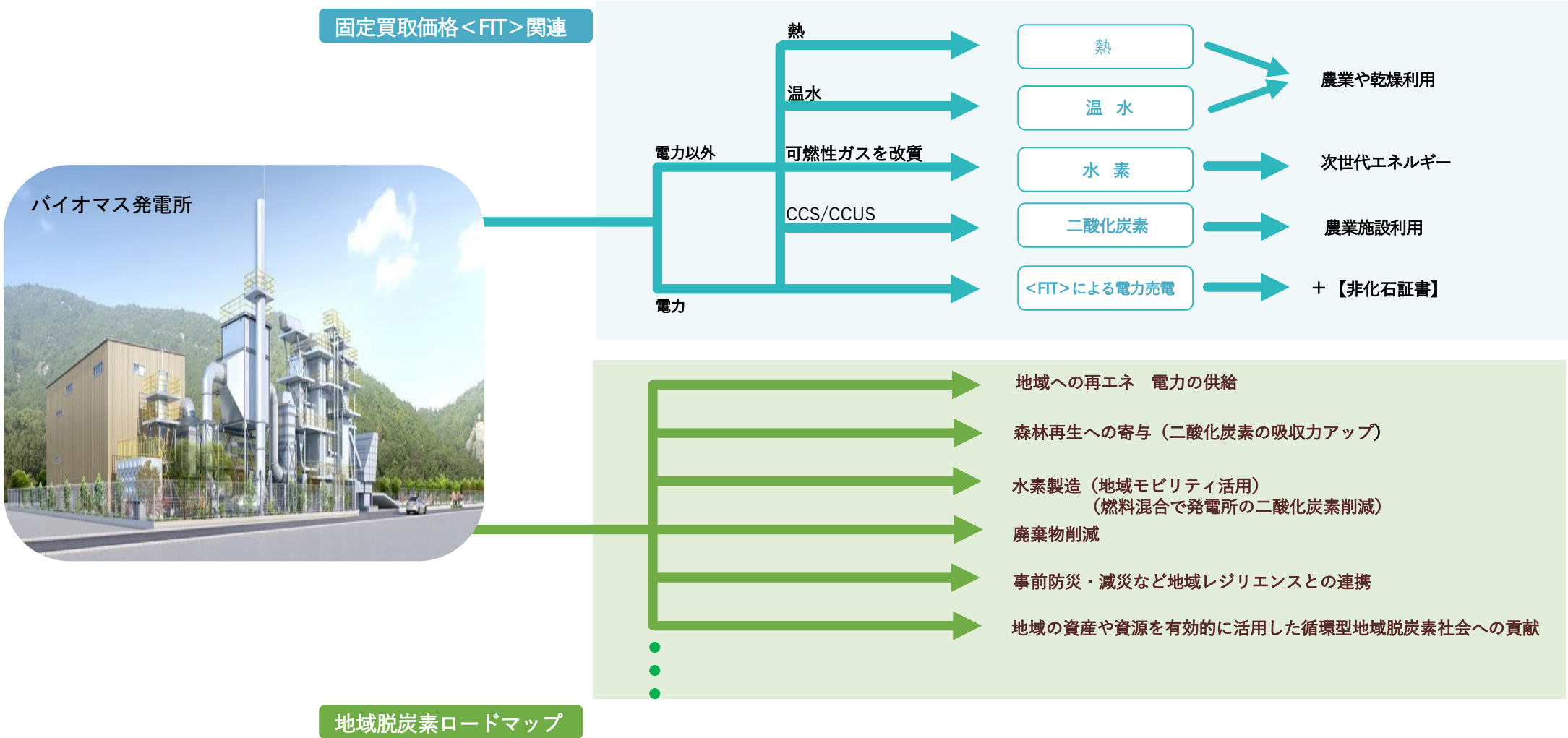
17 パートナースHIPで
目標を達成しよう

プロスペックAZが提唱する地域バイオマス発電事業への取組み



Ⅲ. プロस्पекクAZの『バイオマス発電事業』の社会的位置づけ

固定価格買取制度<FIT>から始まった取り組みは、農業事業への活用検討へと広がり、現在は、環境省が将来の環境社会のために強力に推進する『地域脱炭素ロードマップ』に活動の場を広げ、全国の各地域に貢献する設備としての可能性の拡大を進めています。



Ⅲ. プロस्पек AZの地産地消型バイオマス事業

プロस्पек AZが現在開発しております地域バイオマス資源を燃料とした
木質バイオマス発電事業（2MW）の案件は全19件（2024年6月現在）に上ります。
各都道府県に2か所の開発を目標に取り組みを進めております。

- 📍 運転開始・・・1件
- 📍 着工済・・・6件
- 📍 着工準備・・・1件
- 📍 2024年度開発完了予定・・・3件
- 📍 開発中（FIT・PPA含）・・・8件



IV. プロスペックスAZの蓄電所の取り組み

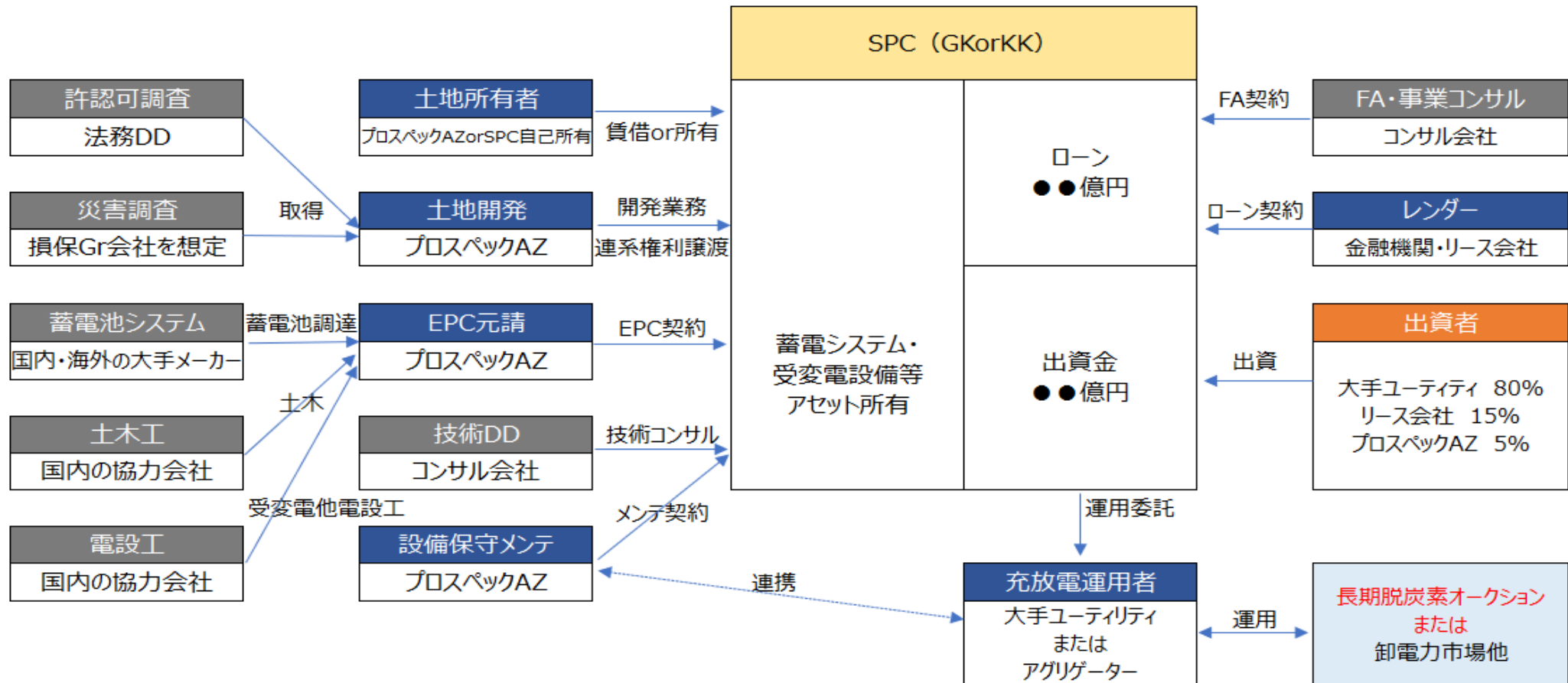


蓄電所とは

- 系統用蓄電池を系統に接続し、電力の余剰時に充電し、電力の不足時に放電することで電力系統の安定化に貢献し、再エネ普及のための必要なインフラと位置づけられる。
- 系統用蓄電池のシステムは、コンテナ内に蓄電池・PCS・空調装置などパッケージされている。
- 次の3つの市場での取引が一般的である。
 - ① 容量市場 (kW価値)
 - ② 需給調整市場 (kW価値)
 - ③ 卸市場 (kWh価値)
- 加えて、長期脱炭素電源オークションによる投資促進の国策が2023年度より開始する。
- 2022年5月の電気事業法改正にあたり、10MW以上の蓄電所は正式に「発電事業」と位置付けられた。

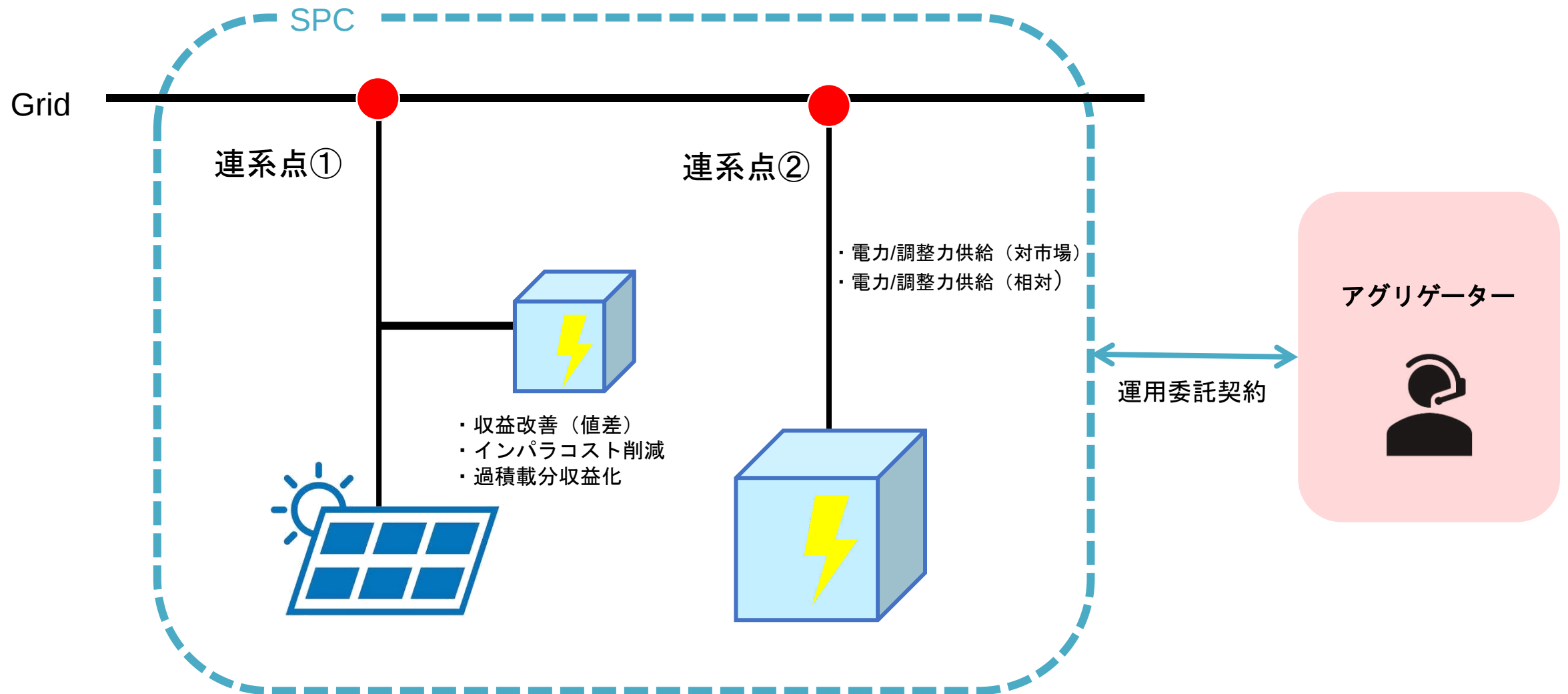


IV.プロスペックAZの蓄電所の取り組み



進行中のプロジェクトのスキーム例

【ご参考】蓄電所のスタンドアローンと蓄電池付き太陽光発電所併設パターン



IV. プロस्पекクAZの蓄電所の取り組み① 特高Ver.

具体的な取組事例



- 土地：東京電力PGの変電所に隣接する5ha土地をPRAZにて取得
- 計画概要：30MW-120MWh相当の蓄電所を2か所ならびに蓄電池併設型太陽光発電所を計画
- スキーム：前項をご参照ください。

大手総合商社、大手ユーティリティ会社、大手リース会社、アグリゲーター企業等との、出資出資による特別目的会社設立



IV.蓄電所の取り組み② 高圧Ver.

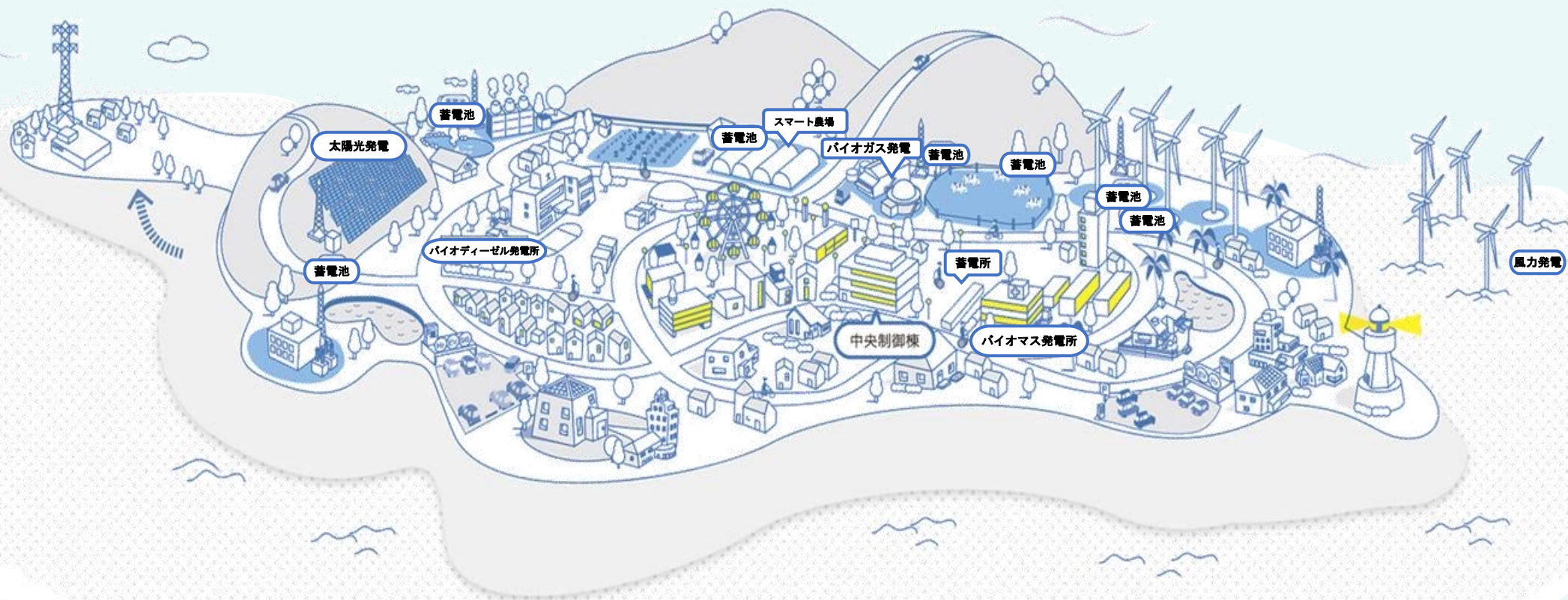
高圧蓄電所(2MW / 8MWh)を
計4区画にて計画

地積・筆数	1区画：	7,708m ²	1筆
	2区画：	7,933m ²	1筆
	3区画：	4,348m ²	1筆
	4区画：	2,119m ²	1筆



蓄電池システム供給メーカーとタイアップした企画・立案により各地域に検討中

XIV. 再生エネルギーのMIXとスマートシティ構想



 **PROSPEC A»Z INC.** が目指すもの
プロスペック AZ 株式会社

- ① 様々な再生可能エネルギー電源のMIXや蓄電池との融合
- ② 地産地消再生可能エネルギー電源へのチャレンジ
- ③ スマートシティの実現